

それは主が六日のうちに、天と地と海、またそれらの中にいるすべてのものを造り、七日目に休まれたからである。それゆえ、主は安息日を祝福し、これを聖なるものと警警された。(11)

# 1年365日、毎日すべてが主の日

# 1.神様を離れたすべての人

科学と医学がいくら発達しても解決できない深刻な問題があります。それが神様を離れて生じた目に見えない霊的問題です。神様を離れた人は、お金が多くて、茂切して、健康であっても、本当の安らぎを味わうことはできません。心の喜びも少しずつなくなって、人生の祭裕まで消えてしまいます。ところで、サタンは神様の子どもであるレムナントにも\*虎視眈々と不信仰の種をばらまこうとしています。それで、神様は神様の子どもがゆっくり休んで、みことばで不信仰をはねのけることができるように聖日をあたえてくださったのです。

# 2. 神様がくださる嫈鴑

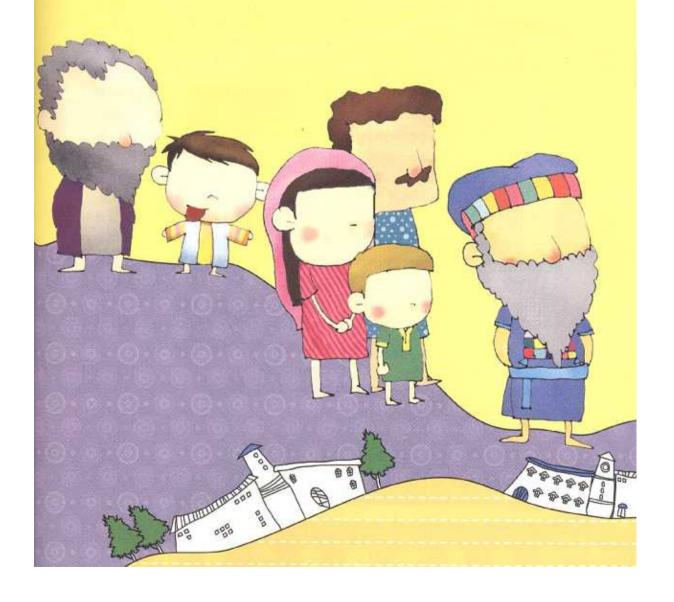
神様から出てくる質の学安と霊肉の安らぎが質の安意です。神様のみことばを黙想する時、問題がいつのまにか消えます。イエス様がキリストで、その方が私の主人になる時、私の限算を越えられます。またすでに来ている答えに懲謝できて、未来の祝福であるビジョンもはっきりと見ることができます。レムナントのみなさん、神様に会う誓びと憲みを問復する質の安意をこの時間、味わってみましょう。

\* 虎視眈々: 虎が、鋭い目つきで獲物をねらっているように、 じっと機会をねらっているようす。

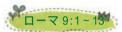
1年365日、どこでもイエス様を主人としておむかえして、インマヌエルを回復する質の愛意を味わいたいです。 教いの祝福と祈りの力を持って、現場で勝利したいです。 愛意の祝福を毎日味わうように 薄いてくださるイエス様のお名前によってお祈りします。 アーメン
◆ 定刻祈りの意検: 昼 12 時 教会のために祈りましょう。 夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



福音に根をおろしていないレハブアムは、神様のみことばをすてました。 まちがった判断をして、イスラエルの人を苦しめました。レハブアムを 見つめるイスラエルの人々の顔の、表情をかいてください。







すなわち、肉の子どもが そのまま神の子どもでは なく、約束の子どもが マストン 子孫とみなされるのです。 約束のみことばはこう です。「私は来年の 今ごろ来ます。そして、 サラは男の子を産み ます。」(8-9)

# わたし ゃくそく 私 は約束の子ども

ときどき、「粉は神様の子どもなんだろうか」と疑問がうまれるで しょう。私が本当に神様の子どもであるのか、ちがうのか、いった い何で証明することができるのでしょうか。また、どのように聖書 のレムナントは、全部、自分が神様の子どもだという確信を持った のでしょうか。

### 1.三つの確実な計

**흹初、神様を離れて、輩とのろいとサタンの権威の下にいたなを、** 神様がイエス・キリストを送って敷ってくださり、製器様で影覚に ともにおられます。二つ目、神様の子どもを神様の髪から引き離す 者はいません。世の中を登る前に、「私」を先に選ばれて、考えと計画 と摂理の中で憲みで私を呼ばれました。三つ目、神様の子どもの 条案は、筦筌に保障されています。家にお金が茤くても少なくても、 がくてもまぬけでも、神様の子どもはかならず天国に行きます。 し かし、朱信者はかならず地獄に行きます。

## 2. 約策の子ども

主がいつも起こしてくださいます。イエス様がともにおられるか ら、私たちは契約の民なのです。聖霊藤が私たちの歩みごとに働か れるので、いのちの福音をだれが勝ぐことができ、約束のみことば をだれが止められるでしょうか。イエス・キリストのお名前でみこ とばが成就して、福音があかしされるから、私は確かに神様の子 どもです。神様は彩の歩みを誦して、地のはてまで福音が置べ待え られることを切案に願っておられます。

私を神様の子どもとして呼んでくださった神様をほめたたえます。聖書と歴史と現場を見ながら 「私は神様の子どもだ」という事実を確信し、善質して、ほめたたえ、強えることができるように 異際的な体験と証拠をください。イエス様のお名前によってお裄りします。アーメン

● 定刻祈りの点検: 昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

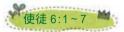
# きりつ

# 福音をもった エリートの 規律

レハブアムは福音を持ったエリートの規律をそなえることができませんでした。 それで、結局、失敗した王になりました。しかし、レムナントはちがいます。 福音を持ったエリートの規律を完全にそなえましょう。福音を持ったエリートの 規律に丸をつけてください。







そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と判の良とに為ちた、強選びの人たち七人を選びなさい。 なさい たちをこの仕事に当たらせることに します。 そして、 がりとみことばの 基仕に 励むことに します。」 (3-4)

# 自分の場所探し

座席を見つけられず、まっくらな劇場の中であちこち速ったことはありませんか。電車や飛行機に乗るとき、試験を受ける場所で審号をもらって試験を受けようとしているのに、座席審号を隠れてしまったことはありませんか。レムナントは、自分の場所を隠れてしまうと、困ったことが起こります。

# 1、裄りで自分の場所を見つけましょう

新りは人生を成功させる近鐘です。不規則な生活をすれば、生活のバランスが崩れて病気になるように、定刻・常時・礼拝・集中祈りのリズムをのがせば、霊的に病気になります。祈りのリズムをのがせば、座席番号をなくして座席が見つからないように、事件と問題の中でさまようようになります。レムナントのみなさん、すべての事件の中に神様の計画があります。気をおとさずに、最後まで祈ってみましょう。そうすれば、神様のみことばが具体的に放就して、伝道の働きを体験するようになります。

### 2. レムナントの場所を見つけましょう

「お前のように勉強できないやつが何をするのか。青も低くて、顔もぶさいくで、スポーツもできないくせに!」サタンがささやく声に耳をかたむけないでください。みんな、うそです。「あなたは本当にすごい!あなたは最高だ。あなただけが優秀で、他の子どもたちはみなバカだ」高慢な心を植えつけるサタンの誘惑にもだまされないでください。私と友だちの間のワンネス(Oneness、一つになること)を切ろうとするつもりなのです。レムナントのみなさん、うそをついて誘惑するサタンと霊的な戦いを大胆にしてください。この戦いはレムナントがぜったいに勝利するようになっている戦いです。レムナントの場所ある答えの座、征服の座、祝福の座を見つける戦いです。

管仰を苦旨することができるレムナントにならせてください。家と学校と教会と世界にイエス様だけ自慢する福音エリートにならせてください。レムナントを愛しておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

**◈定刻裄りの浜検: 昼 12 時** 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

ゾゼは、イエス様がなされた奇跡を見て、おたがいに話しました。
「あの方は、世に来られる、撹舎者にまちがいない!」
「そうだ、そのとおりだ! そうでなければ、どうして、こんな
奇跡を行えるだろう!」

あんな方が報。たちの王になったら、どれくらい良いだろう」

「そうだ! あの方を靴たちの王にしよう!」 養誕!」

「和七餐形」

イエス様は艾なが自分をむりに連れて行って王にしようと していることを知っておられました。それで、イエス様はそこを はなれて、一人で山に上がられました。

# 大麦パン五つと (東京・で)

多くの人が績気の人々をいやされるイエス様の逐を見て、 イエス様についていきはじめました。過越の繁りが近かった この日も、多くの人がイエス様のみことばを聞くために 集まっていました。 イエス様が目をあげて、多くの人がいるのを見て、ピリボに 言われました。 「ピリボ、この人たちが食べるパンをどこで手に入れることが







そのとき、ペテロの"第"であるアンデレが話しました。
「イエス様、ここに男の子一人が、小さな笑箋パン五つと小さな驚生症を持ってきています。しかし、これでは、どのようにこの多くの気管を食べきせられるでしょうか」
イエス様は笑箋パン五つと驚生症を見ておっしゃいました。
「気管に産るように言いなさい」
第字たちは、イエス様のみことばどおりに気管を確らせはじめました。
註に気管を人を確らせてみたら、大人の男の数が、約5千人でした。

イエス様は、男の子が持ってきたパンを持って、神様に態謝の祈りをされました。そしておっしゃいました。

「産っている光冷がほしいだけ、分けてあげなさい」 イエス様は男の子が持ってきた驚にも、同じようにされました。 光冷は響んで食べたいだけ食べて、おなかがいっぱいになりました。 養華が終わったとき、イエス様が弟子たちにおっしゃいました。 「食べて残ったバンと驚をみな葉めなさい。一つもすてないで」 弟子たちは、残った食べ物を築めました。光冷が食べて残った パンきれなどが、大きいカゴで早ご値にもなりました。







しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の集てにまで、わたしの証人となります。

# なくしたことを見つけ出そう

神様は天と地のすべての権威を神様の子どもにあたえてくださいました。しかし、神様の子どもの私には力がありません。私がなにをのがしているから、このように力がないのでしょうか。どのようにすれば、レムナントらしく神様からあたえられた祝福を回復することができるのでしょうか。

#### 1.かならず見なければならないことを見ましょう

大部分のレムナントが、すでに答えをみな受けているのに、残念なことにそれを見られないで簡単に揺れます。キリストの契約と、神の国と、聖霊の満たしの芳法は、教われたとき、すでにレムナントにあたえられた祝福です。この祝福をよく見れば、その中に隠された神様の首的と永遠な道しるべを発覚するようになります。

## 2.かならずしなければならないことに観警をつくしましょう

なぜ祝福を受け続けることができないのでしょうか。かならずすべきことをよく選択して、集中して最善をつくすべきなのに、そうでないから続かないのです。これから一人で祈ることができる体質をそろえましょう。また、神様のみことばが成就する伝道運動を始めてみましょう。そうすれば、神様が与えられた唯一性の祝福が本当に私のものになります。

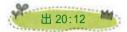
### 3.かならず味わわなければならない力を受けましょう

聖霊様は今でも、私の中にともにおられ、「猫かく、りょうださり、 満たす力で働いてくださいます。、私の力では何もできませんが、 神様がくださった力で世の中を従服できます。

神様があたえてくださった力で、友だちに福音を伝えるすてきな神様の子どもになるように祝福してください。私の身分と権威を正しく見つけて味わうことができるように働いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

◆定刻祈りの点検:昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTC のために祈りましょう





あなたの父と母を敬え。 あなたの神、主が与え ようとしておられる地で、 あなたの齢が長くなる ためである。

# りょうしん 両親をうやまう子ども

ウェーンウェーン澄くだけの紫ん塔が一番韻物にどんなことばを 言うのか知っていますか。それが、ママ、パパです。レムナントの みなさん、一番最初に言って、また、一番多く呼ぶ両親をうやま うレムナントになりましょう。

### 1.親をうやまうレムナントになりましょう

良い子は親の短所は見習いません。心より親をうやまう子は、神様 に正しく仕えます。家庭の問題で気をおとしたり、うらんだりしな いで、その中にある神様の計画を契約でにぎりましょう。神様がか ならず気だちの気候と親を福音で変化させられることを信じるの で、親を最後まで變して、心を攆めながらうやまいましょう。

### 2. 家庭のすべての問題を土台にしましょう

レムナントは、家庭の長い意は祝福の土台に、長くない意はより ー 耐大きい祝福の土台にしなければなりません。他人の何かのせ いにしながら言い説すれば、未来を見ることができません。つぶや きを捨てるとき、過去の意から抜け出せます。福音の中で祈ること ができる奥義があるならば、家庭の問題は全部、土台になって、一 生のメッセージになります。そしてうい。親孝行ができます。しか し、人々は親におこずかいをたくさんあげたり、法事を行うのが | 親孝行だと思っています。しかし、| 薫の親孝行は、製約をにぎっ て現場で勝利することです。それが神様の気で、親の首慢なの です。

神様、福音の根をどんどんおろして、、私たちの家庭と家系に向かった神様のよい計画を発覚させて ください。福音を荃世朔に徐える徐道署として、尚親の首慢になるように、私を用いてください。 イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう ●定刻祈りの点検:昼 12 時



創世記 21:33 アブラハムはベエル・シェバに一本の 柳 の木を植え、 その 所 で 永遠 の神、主の 御 名によって 祈った。

# エル・オラム

エルとは、神様という意味です。オラムとは、時間と 時代を越えておられるという意味です。もう一度 言うなら、オラムは、時間と時代を超減されて

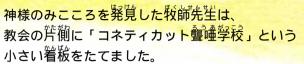
おられる神様、永遠である神様をしめす言葉です。この名前は、アブラハムがアビメルレクとこれ以上、戦わないと約束(平和条約)をして、土地を分けて、その土地にとどまって暮らすときに、神様を礼拝して呼んだ名前です。人間の力ではどうにもできない状況で、神様に頼って礼拝する時、時間を落める神様が、完全に掌かれるということです。

神様は、神様の子どもが神様を繋して、神様に募ねて、神様に助けてくださいと言うことだけを願っておられます。神様の子どもは、神様なしでは生きることができない存在だからです。

レムナントのみなさん、10 分後にどんなことが起きるのかわかりますか。10 分ではないですね。1 分後に起きることもわかりませんね。私たちは、ほんとうに 弱いのです。それで、永遠なる神様に頼らなければならないのです。







「あれ、聞くこともできなくて、話もできないのに、何の勉強をするのかな」

「あら、そうですよね」

その当時には、耳が聞こえない人が学校に強うというのは 木可能なことでした。しかし、祈りで神様と通じた牧師先生は、他の大なと 考えが違いました。耳の聞こえない人が安定した教育を受けて、社会に出て 自分の役割ができる世の中を夢見ました。それで、牧師先生は、みんながむだな夢だと 話す時ごとに神様の前に膝をついて祈りました。

「父なる神様、お父さんの計画は必ず成されるでしょう。不信仰の言葉に 耳を慣けないようにさせてくださって、私にくださった心と思いを完筌に 替ってください」

牧師先生は、犬をの話を後にして、神様の計画に向かって一歩一歩蓮みました。 木可能なことだのようだった事は、一つ一つ筑実化されました。小学校と中学の 教育を越えて、耳の聞こえない人のための総合大学まで立てられたのです。 その姿を見た人たちは、このように話しました。

「やはり!神様は生きておられるよ」

「そうだな。神様は神様の計画をにぎった人を蓪して、

神様の計画をなされるんだな」



# ●定刻祈りの点検:

昼 12 時

教会のために祈りましょう。 夜9時

RUTC のためにがりましょう